

## 福岡県公安委員会活動状況

### <定例会の主な議題及び要旨>

平成31年1月17日（木）

#### 【報告事項】

#### 1 警察署協議会会長連絡会議の開催について

（総務部）

警察本部から「2月7日、警察署協議会会長連絡会議を開催する。出席者は、公安委員、各警察署協議会会長、警察本部長、各部長等としている。会議次第は二部構成としており、第一部は、公安委員長挨拶の後、警察本部からの報告、第二部は、警察署協議会からの活動報告を予定している。」旨の報告があった。

#### 2 平成30年中における繁華街創生プロジェクトの取組状況について

（暴力団対策部）

警察本部から「繁華街創生プロジェクトは、北九州市の繁華街から工藤會を排除し、健全な賑わいの創出と暴力団を寄せ付けない繁華街づくりを目的として平成27年8月に発足した。平成30年中の取組状況については、健全な賑わいの創出に向けた「小倉北・黒崎繁華街魅力づくり推進協議会」の開催等に加え、暴力団を寄せ付けない繁華街づくりに向けた重層的なネットワークづくりやイベント主催者等に対する暴力団排除機運向上の働きかけを推進した。取組の成果として、繁華街関係者との信頼関係の構築及び「暴力の街」のイメージ改善と体感治安の向上が挙げられ、今後とも、繁華街関係者、行政、警察が一体となった各種取組の推進並びに構築した信頼関係を基にした暴力団排除施策及び暴力団情報収集活動の推進に取り組んでいく。」旨の報告があった。

公安委員から「非常に良い取組であり、引き続き取組の拡大をお願いする。また、プロジェクト発足後は、イベント等の開催件数が増加しているのか。」旨の発言があり、警察本部から「イベント等の増加はもちろんのこと、参加者についても増加している。」旨の説明があった。

公安委員から「北九州地区の暴力団対策については、数字の面からも功を奏していることが明らかである。風俗営業等の業種は、暴力団の資金源となりやすいことから、関係者の「暴力団に付け入る隙を与えない」という意識を向上させるとともに、客引き等の取締り強化など、繁華街の浄化に向けた取組を引き続きお願いする。」旨の発言があり、警察本部から「繁華街関係者とのネットワーク構築により暴力団排除機運は向上しており、今後とも、官民一体となって、暴力団を寄せ付けない繁華街づくりに取り組む。また、繁華街の浄化に向けては、客引きの取締りや立入りの実施など、引き続き警察の総合力を発揮した取組を推進する。」旨の説明があった。

公安委員から「北九州市の繁華街では、平成15年にクラブに手榴弾が投げ込まれる事件が発生するなどし、一時は客足が遠のいたと思われるが、現在は客足が戻ってきているのか。」旨の発言があり、警察本部から「正確な数値は把握していないが、繁華街関係者等の話によれば、以前に比べ客足が戻ってきているとのことである。」旨の説明があった。

公安委員から「引き続き、繁華街関係者や関係機関・団体との連携を強化し、健全な賑わいのある繁華街づくりをお願いする。」旨の発言があった。

#### 3 平成30年度九州管区広域緊急援助隊合同訓練の実施について

（警備部）

警察本部から「1月22日及び23日の2日間、大分県において、九州管区警察局及

び大分県警察の主催で「平成30年度九州管区広域緊急援助隊合同訓練」が実施される。訓練には、福岡県警察約120名を含む九州管区広域緊急援助隊等の警察部隊が参加するほか、陸上自衛隊、消防機関等が参加し、地震や津波等による家屋倒壊や土砂災害等を想定した訓練が行われる。」旨の報告があった。

公安委員から「訓練で想定している「マグニチュード7.3の地震」の根拠は何かあるのか。また、近年、九州各地で地震、火山の噴火、豪雨災害等の多種多様な災害が発生しているが、本訓練も様々な災害を想定して行っているのか。」旨の発言があり、警察本部から「本訓練は、九州各県の持ち回りで実施されており、訓練で想定する災害の規模等については、主催県が自県の被害想定等を基にして決めている。内容についても、地震のほか、火山の噴火や豪雨災害等の各県の特性を踏まえたものとなっている。」旨の説明があった。

#### **【その他の報告事項】**

警察本部から「来週21日は、県警察学校を卒業予定の初任科生に対する訓育を行う。22日は、警視任用研修、24日は、県の庁議に出席する。」旨の発言があった。

